

2015年1月

お取引様各位

株式会社 セガ 国内販売部

「トリプルキャッチャーメガ/メガダッシュ/ギガ」

電源スイッチ周辺部品の点検及び、新仕様部品への交換のお願い

謹啓 貴社益々御発展の事とお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り心より厚く御礼申し上げます。

さて、2011年12月より、当時取扱をしておりました株式会社インデックスより「トリプルキャッチャーメガ・同メガダッシュ」の点検及び部品交換のお願いを行って参りましたが、これに加え「トリプルキャッチャーギガ」も含め、改めて下記の通りご案内申し上げます。

この点検と部品交換を行わずに放置しておりますと、長期間の使用、あるいは設置環境などによっては経年劣化により、電源スイッチ周辺部品での発煙や発火を起こす場合がある事が確認されております。

つきましては、対象機種を所有のお取引様におかれましては、別紙資料に基づき該当箇所の点検を行って頂き、旧仕様の部品であった場合は下記の窓口までご連絡頂き、速やかに新仕様の「電源スイッチ」「対策ハーネス」への交換をお願い申し上げます。

また、今後に関しましては同点検を半年毎に定期的を実施して頂きます様お願い申し上げます。

なお、「トリプルキャッチャー」シリーズの各種サポートは、2013年6月をもちまして終了しており、「電源スイッチ」「対策ハーネス」以外の部品につきましては、誠に遺憾ではございますが、ご用意する事ができませんので、事情ご賢察、ご了承を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

今後とも、より一層のお客様へのサービス向上に努めて参りますので、引き続きご高配を賜ります様、よろしくお願い申し上げます。

謹言

—記—

【対象機種】

トリプルキャッチャーメガ/メガダッシュ/ギガ

【新旧部品の相違点】



電源スイッチが赤色の場合、旧仕様部品の為、交換対象となります。



電源スイッチが黒色の場合、新仕様部品ですので定期点検時の異常が無い場合、交換の必要はございません。

【点検方法】

点検方法の詳細な手順は、別紙の資料をご参照下さい。
(※「ギガ」については「メガダッシュ」の手順書を参照願います。)
ご不明な点がございましたら下記の技術相談連絡窓口までお問い合わせをお願いします。

【技術相談連絡窓口】

技術相談連絡窓口：SLSカスタマサポート

0120-412-159

以上

「トリプルキャッチャーメガ」点検手順書

作業は、各種取扱説明書の冒頭で定義されている「技術者」に該当する方が行って下さい。
必ず筐体背面の電源SWをOFFにし、ACケーブルをコンセントから抜いた状態で行って下さい。

使用する工具 ドライバー ソケットレンチもしくはスパナ 懐中電灯等の照明具

1. 点検概要

- ①設定パネルに取り付いている電源スイッチの損傷。
- ②電源スイッチ(裏部)に取り付いているAC電源ハーネスのスリーブ(被服)の変色。

2. 作業を始める前に

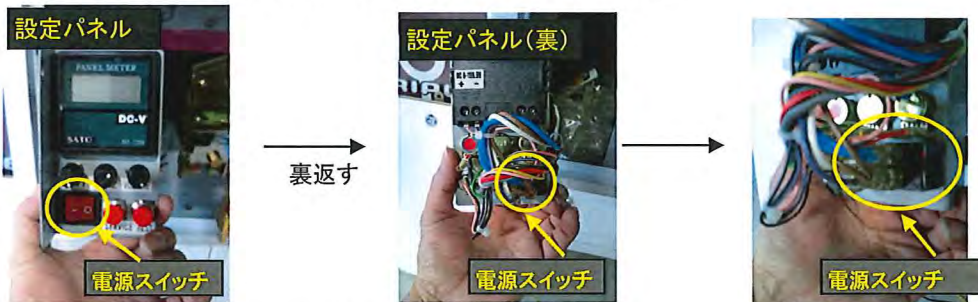
- ①点検作業を開始する前に必ず電源スイッチをお切り下さい。
- ②ACコードをプラグから抜いてから作業を開始下さい。

3. 検査順序

- ①フロントのサービスドアを開錠して開きます。



- ②ドア内部の設定パネルを引き出し、裏返して下さい。



- ③電源スイッチの裏部を確認します。



注・左の画像はスイッチを取り外した状態です。
点検は取り外さなくとも可能です。

緩みがないかの手確認も行ないます。
ペンチ等で差込み具合を調整して下さい。

- ④スリーブ(被服)の変色を確認します。



- ⑤以上で点検作業は終了です。異常が発見された際は下記へお問い合わせ下さい。

「トリプルキャッチャーメガダッシュ」点検手順書

作業は、各種取扱説明書の冒頭で定義されている「技術者」に該当する方が行って下さい。
必ず筐体背面の電源SWをOFFにし、ACケーブルをコンセントから抜いた状態で行って下さい。

使用する工具 ドライバー ソケットレンチもしくはスパナ 懐中電灯等の照明具

1. 点検概要

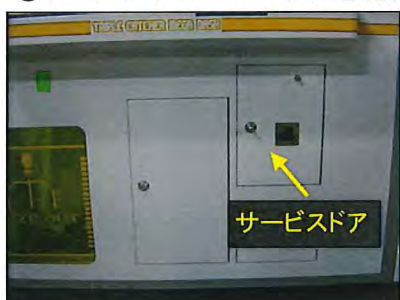
- ①設定パネルに取り付いている電源スイッチの損傷。
- ②電源スイッチ(裏部)に取り付いているAC電源ハーネスのスリーブ(被服)の変色。

2. 作業を始める前に

- ①点検作業を開始する前に必ず電源スイッチをお切り下さい。
- ②ACコードをプラグから抜いてから作業を開始下さい。

3. 検査順序

- ①フロントのサービスドアを開錠して開きます。



設定パネルの取付けネジ2本と配線クランプネジ1本を外します。

- ②ドア内部の設定パネルを引き出し、裏返して下さい。



- ③電源スイッチの裏部を確認します。



注 ・左の画像はスイッチを取り外した状態です。
点検は取り外さなくとも可能です。

緩みがないかの手確認も行ないます。
ペンチ等で差込み具合を調整して下さい。

- ④スリーブ(被服)の変色を確認します。



- ⑤以上で点検作業は終了です。異常が発見された際は下記へお問い合わせ下さい。